

コロナ禍でも緩めない育児支援

横浜市会議員 伏見ゆきえ

令和3年度戸塚区の予算概要は「とつからし」「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづく

コロナ禍で高まる「孤育て」「リスクや出産前後の不安の解消を図ります。

超党派女性議員も
コンサート協力!

横浜市会に所属する女性議員超党派が3月8

活かした取り組みと、感染力予防や自然災害に対する「安全・安心で活力あるまちづくり」の2つを軸にしています。

これまでも、赤ちゃんを初めて迎える両親のために育児教室の一部を動画で配信しています。また、子育て支援拠点では緊急事態宣言下においても、限られた人数にする工夫をしたり、換気など細心の配慮を図りながら開館したりするなど、育児支援の手を緩めることはありませんでした。

日程は3月18日(木)、会場は市庁舎1階アトリウムです。時間は午後4時から7時、当日はオンライン配信も予定しています。ぜひお気軽にご覧いただけます。



伏見ゆきえ

1968年川崎生まれ横浜育ち。私立橘女子高卒業後、歯科医院、ヤクルトレディーなどを経て2015年に横浜市会議員初当選。現在2期目。連絡事務所／〒244-0816 戸塚区上倉田町390-1表ビル1-B ☎045・443・5757 / FAX 045・443・5671 / Facebookで日々の活動更新中!

今回の予算拡充による支援を、より多くの人が受けたいと思います。

上手く活用し、時に苦しいと感じる育児の負担が少しでも軽くなって頂ければと思います。